

研究室名

浜田研究室 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	日本建築学会 2021年度日本建築学会大会（東海）学術講演会
演題名	地震時における室内空間の機能維持のための研究 —その7 カメラ映像を用いた地震時即時室内被害状況判定手法の開発 アンケート結果の分析アップデート—
発表者	○中西良成、正月俊行、坂元一雄、畠山祐季（構造計画研究所）、佐藤栄児、福井弘久（防災科研）、 <u>浜田宏一（帝京大）</u>
内容	2021年9月にオンライン開催された上記学会において、地震発生時の室内空間の被災状況をカメラ映像から定量化するための研究を発表した。被災状況の定量化には、カメラ映像と実際の被災状況との関連付けが必要となる。本発表では、震災の状況を模擬するために、防災科学技術研究所の所有する実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）を利用して作成された映像を用いた。撮影された複数のカメラ映像に対し、100人にアンケート調査を行い、映像内の被災状況を4段階（大、中、小、無）に分類してもらった。また、被災度を分類する際に、何に着目して被災状況を判断したのかを明らかにした。